



大糠森山頂から能代方面を望む

## 新潟から秋田へ

皆さん初めまして。私は、今年度より非常勤職員として八峰白神ジオパーク推進協議会事務局に勤務することになった小河原孝彦です。現在は新潟大学理学部地質科学科に所属しており、専門は地質学（鉱物学）となります。私の父が旧八森町にてエコツアーリズム構想の仕事をしていた縁もあり、このたび八峰白神ジオパークのお手伝いをする事になりました。今後イベント等でお世話になることもあると思いますので、よろしくお願いいたします。

## ジオサイトをめぐって

こちらに来てすぐに、八峰白神ジオパーク推進協議会の工藤会長とジオサイトをめぐめる機会がありました。チコキ崎に向かうコースです。はじめに目に飛び込んできたのは、砂丘でした。私の大学のある新潟にも砂丘はありますが、八峰町周辺の物も立派です。ジオサイトとしては、公園となっているポンポコ山や、弥生時代の遺跡などがあります。新潟の海岸線も冬は飛砂で大変な目に遭っていますが、大昔にこの周辺に住んでいた人もさぞ大変だったと思われる。

北に向けて高くなる段丘を越えて海岸線に出ると、魚岩や白神のスフィンクスなど愛称のある岩があります。また、立岩やオカムイ岩など古くからの言い伝えがある岩もあります。これは、今も昔も岩や地質が住んでいる方の身近にあったということでしょう。

オカムイ岩



チコキ崎を越えて県境付近には、今までは異なり花崗岩な

県境付近の花崗岩



どの古くて深い地層でつくられた岩石が多く見られました。これらの岩石には断層や岩脈といった、白神山地の形成に関わりそうな現象がたくさん見られます。今後これらを研究することによって、白神山地の成り立ちを八峰白神ジオパークから解き明かすことができるかもしれません。

## 白神のスフィンクスから白神山地の成り立ちまで

八峰白神ジオパークのジオサイトを巡り感じたことは、平野から山地までくまなくジオサイトがあることです。砂でできた砂丘からかたい花崗岩の白神山地をめぐると、恐竜のいた時代から人間の生活していた時代までをめぐれる、特色あるジオサイトが広がっています。

また、愛称を持ち古くからの言い伝えのある岩がジオサイトとなっていることも特徴の一つでしょう。白神のスフィンクスなどは初めて案内され、見る角度を変えていくと、とても驚きました。地域の方が、今も昔も岩や地質に興味を持っているということは、ジオパークとしてとても素晴らしいことだと思います。

大学で地質を勉強している者として、白神のスフィンクスといった地域の方がおもしろいと思うことから始まり、ゆくゆくは白神山地の成り立ちといった地域全体の地質を解き明かすお手伝いができればと考えています。

八峰白神ジオパーク推進協議会

小河原 孝彦

八峰白神ジオパーク推進協議会

〒0182612

秋田県山本郡八峰町八森字ノケソリ116

TEL 0185-78-2427 旧岩館小学校内

